ICN NP/APN NETWORK CONFERENCE 2026

世界の高度実践看護の現在と、これから

報告者：藤原由佳、梅田恵





2026 年 9 月 14 日～17 日、米国ナッシュビルで ICN NP/APN Network Conference が開催され参加しました。また、市原真穂さん、森一直さん等、複数の学会員の方が参加されていました。
本 Conference は複数 70 か国以上から 1,300 人を超える APN・看護リーダーが集い、**Advanced Practice Nurses: United for Global Impact, Innovation, and Care** をテーマに、臨床実践、教育、制度・規制、リーダーシップ、政策、AI・デジタルヘルスなどについて議論されました。

今回の学会を通して見えてきたこと

各国の制度や発展段階は異なるが、**「APN を育成する」だけでなく、その専門性を十分に発揮し、保健医療システムの価値につなげる仕組みをつくる**という視点

1	2	3	4	5
APN を育成する 教育・ コンピテンシー	**能力を十分に発揮できる仕組み** 役割・資格認定 規制・組織体制	**実践の成果を可視化する** 「何をしたか」→ 「何が変わったか」	**意思決定・政策形成に参画する** Leadership Advocacy	**Health system 全体の改善につなげる** PHC・アクセス 継続性・質

日本の高度実践看護への示唆

- APN の共通基盤、役割、教育、自律性について、国際的な議論を踏まえて整理・共有する。
- CNS と NP を対立的に捉えるのではなく、各々の強みを生かして協働し、日本の Advanced Nursing Practice の発展につなげる。
- 病院内にとどまらず、地域・在宅、高齢者ケア、緩和ケアなど、今後ニーズが高まる領域で APN が生み出す価値を具体的に示す。
- APN が能力を十分に発揮できる組織・制度を整え、成果を患者・家族、チーム、組織、地域への影響として可視化し、政策提言につなげる。
- 次世代 APN のリーダーシップとキャリア形成を支援し、日本の高度実践看護の成果を国際的に発信する。

14th Annual ICN NP/APN Network Conference 2026 | Nashville, Tennessee, USA

会員の皆さまへ

APN はもはや **“best kept secret”** —その価値が十分に知られていない存在— であってはならない、という趣旨のメッセージが語られました。**APN の価値を「見える形」にし、次の制度・実践へつなげること**が求められています。